

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	コベルプラス海老名門沢橋教室	公表日	2026年 3月 1日
------	----------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・ 利用児童の成長段階および一緒に来所している兄弟児に合わせて、教場の設定を行っている。 ・ プログラムや参加人数に合わせて、限られたスペースや時間を区切りながら実施している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・ 規定内の配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・ 一軒家であるため、バリアフリー構造でなく、身体障害の利用者には制限が設けられる構造であるが、移動時に意識をして援助している。	→日々、事故防止に努める器具や保護部の点検を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・ 毎日丁寧に清掃を行い、個々が汚れに気付くと清掃する習慣が出来ている。 ・ 感染症対策を目的とし、使用毎に教材等の消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・ 相談室や洗面所など、クールダウン出来るスペースがある。(必要に応じて相談室を開放している)	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・ 毎日カンファレンスを実施している。 ・ 毎月スキル向上を目的とした会議や研修を実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ ご家族からの集計結果を職員間で確認し修正箇所については会議で対策を講じている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ カンファレンス等で、自由に発表出来る場を設け、その都度の内容の検討を行っている。 ・ 教室長以外の上長とも定期的に面談を行う機会があり、業務を改善する場面もある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		→これまでの実施はないが、必要に応じて本部と相談をし実施をする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・ 定期的に行っている。 ・ 毎月、指導員の課題を基に議題を抽出し実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ 利用児童の成長に合わせて、課題の設定および個別課題を設けている。 ・ 実施プログラムをご家族に提示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・ レッソンの実施状況や、指導員からの意見を徴収し作成をしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・ 上記と同様 ・ 毎日、情報共有をする時間を設けている。 ・ 状況の変化に合わせて、モニタリング時より先に計画書の作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・ 利用児童の目標を明確化し、個人のファイルで確認しやすいよう工夫を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・ ADL(日常生活動作)のアセスメント以外にも、レッスンに必要なスキルを確認するシートを用いりアセスメントをとっている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・利用児童、全員に対して支援項目内に記載をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員間で話し合い行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・複数名の指導員が担当するように工夫を行っている。 ・児童が楽しめるように、提示の仕方を工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・就学および通園先での課題を意識した計画書を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・就業開始前、午後のレッスン開始前にミーティングを実施し、確認等を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・毎日レッスン終了後、担当児童の様子を話す機会を設けている。 ・記録に情報を残すようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記載内容をルール化し、次回に繋げられるように行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・計画書の期間内に実施している。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児童管理責任者が実施している。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・協力医と協定を結んでいる。 ・行政との連携を図っている。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・支援状況及びご家族の要望に応じて実施をしている。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・支援状況及びご家族の要望に応じて実施をしている。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		・市設の療育センターとの連携を行い、必要に応じて助言を受ける体制を整えている。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		→現在、実施なし。必要に応じて検討をしていく。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・利用毎にフィードバックの機会を設け、出来ていることなどを確認する機会としている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・ご家族がレッスンを見学の際、一緒にレッスンを見学しながら相談支援等を行っている	→ペアレント・トレーニング等は現在実施なし。日々のフィードバックの内容を充実させ、内容に応じて助言を行っている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に実施している。 ・自由に閲覧できるように配置をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・作成前に意向等確認し、計画書の立案を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・説明、同意、交付を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・週1回程度、最近の様子などを確認する機会を設け、必要に応じた助言や対応を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・同時刻のご利用者様同士、交流がしやすい環境を整えている。 ・プレイルームでは、ご兄弟も参加が出来るように展開を行っている。	→父母会等の設立は行ってない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・LINE等を使用し、情報提供を行っている。 ・相談については、出来るだけ迅速な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・LINE等を活用し、情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・ご家族と利用児童についての話をする際、周囲の状況などを意識しながら行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・必要に応じて、メモ等を使用して対応をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・開校時に近隣住民に挨拶を行い、希望者に見学をして頂いている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルを作成している。職員間での訓練、研修などを行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCP計画の作成および半年1回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・利用毎に玄関で健康チェックを行っている。（検温にて）	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・食事の提供なし。 ・契約時にアレルギーの確認を行っている。（念のため）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・BCPを作成し、定期的に内容の確認および想定訓練を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			→BCP計画を閲覧できるよう、対応を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・作成し、全職員での閲覧を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に研修を行い、マニュアルの確認を行っている。 ・不適切な対応にならないよう、職員間での確認や指導を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・実施をしないことを念頭に支援を行っている。 ・これまでの実施なし。	